

# 総合教育センターだより

第80号

平成18年3月

## 確かな指導力と自ら学び続ける意欲を高揚

特集 平成18年度の研修講座の紹介

### 学校と教職員のニーズに応える

#### 指導力量を高める

- 参加体験型の研修を通して「授業実践力」等の実践的指導力の向上—
- 学びの基盤としての国語力の向上—

#### 専門性を磨く

- 大学との連携講座の拡充—
- 個性伸長のための「選択講座」の拡大—

#### 次代を担う教員の資質能力の向上を図る

- 若手教職員の育成と指導者層の養成の視点—

上記の3点は、平成18年度研修講座を構想する際に最も大切にしたい視点です。これらをもとに「まなび教育推進プラン」や「指導の重点」等を踏まえ、実践的指導力の向上を図る参加体験型の研修を始め教職員の個性伸長、得意分野づくりを支援する多様な研修や指導者層を養成する研修を実施します。

#### 目

平成18年度研修講座の主な改編概要……………	2
講座運営の改善概要……………	3
若手教職員の増加への対応……………	4
次代を担う指導者層の養成……………	6
「まなび教育推進プラン」への積極的な対応…	8

#### 次

専門研修講座の充実……………	10
「授業実践力」を中心とした実践的指導力の向上…	14
ITを活用した新しい研修システムの導入…	14
ITEC教育コンテンツの紹介……………	15
平成17年度の研究事業について……………	16

# I 平成18年度研修講座の主な改編概要

経験年数	主 な 改 編	新規	改編	参照頁
初任	<b>基本研修</b> 初任者・新規採用者研修 勤務校研修との連携 ◎講座内容のモジュール化による柔軟な構成 ・校内での教育実践とセンター研修の効果的連携による実践的指導力の育成 ◎全ての受講者が模擬授業を実施 ◎担任制の導入			4
2年 ～ 5年	教職経験2～5年目研修 ◎2、3、5年目研修の統合と実践的指導力の育成 ・必修と選択による多様な講座構成 ・実践につながる多様なニーズを踏まえた新設48講座から選択 ・利便性向上（同一講座を北部でも実施） 2年目、3年目、5年目教職員必修 4年目教職員の選択受講可能			5
10年	10年期研修 (必修講座) ・ 共通講座 ・ 社会体験活動講座 ・ 小中・生徒指導講座(局実施)			13
	<b>専門研修</b> ◎選択制の拡充と個性伸長や得意づくり推進 ◎大学連携講座の拡充 (教科) 新たに中学校教員にも対象拡大 (領域) 新規開講 (3講座) 10年期研修選択講座 専門研修講座として受講可能			10 13
	<b>指導者養成研修</b> 次代を担う指導者層の養成 ◎校内研修等における授業研究の活性化の支援 ◎教育相談活動をコーディネートする力量の養成 ◎ITを活用した授業の充実			6 7
	<b>英語eラーニング</b> ITを活用した新しい研修システムの導入			14

指導力量を高める  
 ・ 専門性を磨く  
 ・ 次代を担う教員の資質能力の向上を図る

I  
T  
E  
C  
活  
用

## Ⅱ 講座運営の改善概要

### 受講者のニーズに対応した講座運営

- 参加体験型講座の拡充
  - ・模擬授業の実施や具体的なテーマに基づく演習、意見の交流等を重視する講座の拡充
- 受講しやすい講座の拡充
  - ・センターと北部研修所での同一講座の拡充
  - ・テレビ会議システムによる同時研修の拡充
  - ・半日講座の拡充
  - ・教育局管内での開講

### ITECの活用 ー効率的・効果的な講座実施と積極的な情報発信ー

#### 講座での活用

- 講座の諸連絡
- 事前に関連資料の提供
- 講座の課題の提示
- 講座で開発された教材・教具等の情報提供

#### 積極的な情報発信

- 研修講座実施要項
- 教材教具等の教育コンテンツ
- 教育資料
- 研修テキスト（PDF版）等

#### ITEC上でのユーザー名、パスワードについて

ITEC上のサイトによっては、ユーザー名、パスワードの入力が必要な場合があります。

なお、[www2.kyoto-be.ne.jp/ed-center/](http://www2.kyoto-be.ne.jp/ed-center/) で始まる内部ホームページ（京都みらいネットワーク内で接続されたパソコン）の場合、ユーザー名、パスワードの入力は不要です。

### 気象警報発令時の研修講座の取扱い

- ◎ 気象警報発令時も原則として研修講座を実施しますが、講座を中止する場合、遅くとも実施日の午前6時までには下記の方法でお知らせします。
    - インターネットから <http://www1.kyoto-be.ne.jp/ed-center/>
    - 携帯電話から <http://www1.kyoto-be.ne.jp/ed-center/m/>
    - 電話から 075-612-3493 又は 075-612-3496
- 詳しくは、「講座の概要」をお読みください。

## 若手教職員の増加への対応

新規に採用される教職員数は右表のように平成14年度以降大幅に増えています。一方、30歳代から40歳代前半までの中堅教員が少なく、加えて指導的立場にある教職員が大量に退職していく時代が始まっています。

初任者・新規採用者数の推移（人）

H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17
70	39	63	220	255	254	303

若手教職員がこれからの学校の中核を担うためには、教職の基盤としての「実践的指導力」を身に付けることが大変重要です。

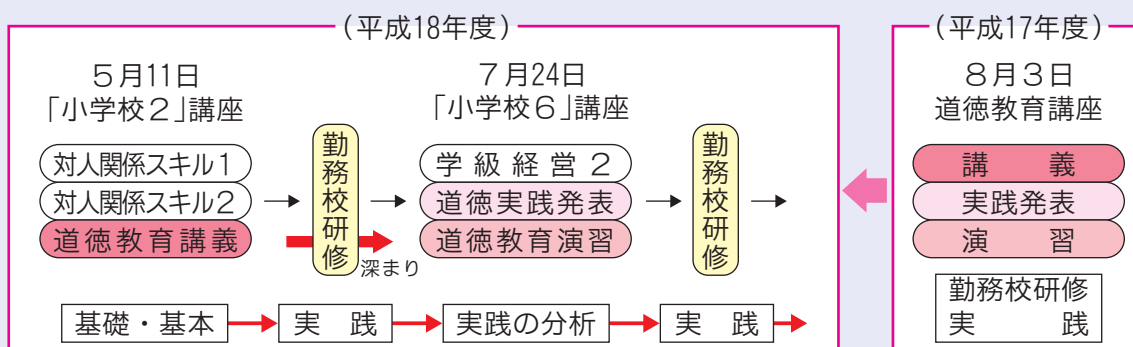
センターでは若手教職員の実践的指導力の育成に向けて、教職員研修の基本となる校内研修との連携を深め、「初任者・新規採用者研修講座」や「教職経験2～5年目研修講座」の充実を図ります。

### 初任者等研修講座

#### [ねらい]

教育実践との関連を踏まえ、勤務校研修との連携を深め、実践的指導力の育成を図ります。

#### ○ 講座の内容をモジュール化して再構成



#### [モジュール化のねらい]

- ・従来の講座の内容を精査し、効果的に再構成することで、勤務校研修と研修講座の連携を図ります。
- ・基礎的事項の研修を実践に生かし、演習等の具体的な研修を通して、実践的指導力の育成を図ります。

#### ○ 全ての受講者が模擬授業を実施、参加体験型研修の重視

－ 実践的指導力の育成を図る講座の充実 －

- ・模擬授業による授業実践力の育成
- ・保護者等とのコミュニケーション能力を身に付ける「対人関係スキル」の新設
- ・学級児童生徒の好ましい人間関係を育てる「学級経営」の新設

#### ○ 担任制の導入

－ 学校との連携を深め、一人一人の力量形成の支援 －

- ・「トークセッション」を通じた一人一人の研修状況の把握と具体的助言
- ・勤務校研修とセンター研修の連携の強化
- ・校長等連絡協議会の機能的運営

# 教職経験 2～5 年目研修講座

新規

## [ ねらい ]

若手教職員が授業実践力を始めとする実践的指導力を身に付けられるよう、多様な選択講座から一人一人の意欲や個性に応じて選択受講できます。

平成18年度		平成17年度		
講座名	教職経験 2～5 年目研修講座 (2年目研修、3年目研修、5年目研修を統合)	教職経験 2年目研修	教職経験 3年目研修	教職経験 5年目研修
受講対象	2年目、3年目、5年目の教職員 4年目の教職員も受講可能	2年目 教職員	3年目 教職員	5年目 教職員
講座数	48講座(半日単位)から3講座受講	1講座	1講座	1講座
会場	センターと北部研修所との2箇所で開催 (同一内容の講座を開講)	センター で実施	センター で実施	北部研修所 で実施
実施日	夏季休業期間中 各講座の開講日(17日間設定) から受講者が選択	7月 28・29日	8月 10・11日	8月 2・3日
受講形態	必修、選択必修、選択各1講座を受講 ・4講座以上の受講も可能 必修――共通講座 選択必修―授業実践演習講座から選択 選択――具体的なテーマの各種講座	必修(共通)	必修(共通)	必修(共通)

※ 受講について、詳細は各校あてに別途通知します。

## 2～5年目研修講座一覧

<b>必修</b>	教職経験 2～5 年目研修「共通」講座	
<b>選択必修</b>	小学校授業実践演習「授業構想」講座 小学校授業実践演習「授業技術」講座 小学校授業実践演習「教材教具」講座  中学校授業実践演習「授業構想」講座 中学校授業実践演習「授業技術」講座 中学校授業実践演習「教材教具」講座  高等学校授業実践演習「授業構想」講座 高等学校授業実践演習「授業技術」講座 高等学校授業実践演習「教材教具・評価」講座  盲・聾・養護学校授業実践演習講座	<b>選択</b>
<b>選択</b>	小学校「総合的な学習の時間」基礎講座 小学校「聞く力・話す力」育成講座 小学校算数的な活動実践講座 小学校「気づき」のためのグループワーク講座 小学校教育課程基礎講座 小学校「書く力」育成講座 小学校生徒指導・学級経営講座 小学校特別活動実践講座 小学校生徒指導・児童理解講座 小学校特別支援教育基礎講座 小学校読み聞かせ・読書活動推進講座 小学校コミュニケーション能力向上講座	※小学校実技実習ベーシック講座音楽科 ※小学校実技実習ベーシック講座体育科 ※小学校実技実習ベーシック講座家庭科 ※小学校実技実習ベーシック講座図画工作科 *小・中学校社会科「学び方・調べ方」実践講座 小学校・中学校道徳教育講座  中学校コミュニケーション能力向上講座 中学校生徒指導・学級経営講座 中学校「気づき」のためのグループワーク講座 中学校生徒指導・生徒理解講座 中学校教育課程基礎講座 中学校特別活動実践講座 中学校進路指導実践講座 中学校・高等学校特別支援教育基礎講座 中学校・高等学校「総合的な学習の時間」講座  高等学校進路指導実践講座 高等学校ホームルーム経営講座 高等学校コミュニケーション能力向上講座 高等学校教育課程基礎講座 高等学校「気づき」のためのグループワーク講座 高等学校生徒指導実践講座  教育相談基礎演習講座 メンタルヘルス講座 自閉症の特性等に応じた指導講座 学校事故・危機管理講座

\*印はセンターのみで実施 ※印は北部研修所のみで実施  
 その他はセンター、北部研修所の2箇所で開催

## 次代を担う指導者層の養成

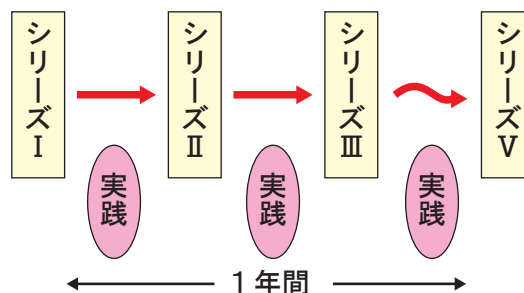
経験豊かな教員が大量に退職する時代を迎えています。各校において指導的力量を備えた教員を養成することが、喫緊の課題となっています。指導者養成特別講座では、自己の専門性を高めるだけでなく校内研修等における指導助言や研修をコーディネートする力量を養成します。

### 指導者養成特別講座

#### 指導者養成特別講座の構成

講座をシリーズ化し、年間を通じた研修となるよう構成しています。

次の受講までの間に各自で実践・研究を深めることで、継続性のある充実した研修を目指します。



#### 校内研修等における授業研究の活性化

小学校授業実践指導者養成特別講座シリーズⅠ～Ⅴ  
中学校授業実践指導者養成特別講座シリーズⅠ～Ⅴ

新規

##### [ ねらい ]

- ・大学の教員等スーパーバイザーによる講義と演習を通じた教科専門力量の向上
- ・教科を横断した授業分析、授業評価力の養成
- ・授業研究の活性化を図る校内研修等のコーディネート力の養成

##### [ 養成する力量 ]

・高い専門性に基づく「授業実践力」

・授業を観る力、分析・評価する力

・研修をコーディネートする力

・プレゼンテーション能力

##### [ 研修内容 ]

###### 講義

- ・コーチングのスキルを生かしたチームマネジメント
- ・カリキュラム・マネジメントと学習計画
- ・授業分析、授業評価の在り方
- ・授業研究を中心とする校内研修等の活性化

###### 演習・研究協議

- ・授業評価の観点の作成と分析・評価演習
- ・授業研究を中心とする研修のコーディネート演習



## 教育相談コーディネーターの養成

### － 不登校の未然防止と的確な対応に向けて －

教育相談指導者養成特別講座シリーズⅠ～Ⅲ

改編

#### [ねらい]

- ・教育相談に関する専門的力量的向上
- ・学校等における教育相談活動や研修を効果的にコーディネートする力量的養成

## ITを活用した授業づくりの推進

IT推進指導者養成特別講座シリーズⅠ～Ⅳ

改編

#### [ねらい]

- ・「教育の情報化」の積極的推進と校内等におけるITに関するコンサルテーション能力の養成
  - ・情報モラルの指導等情報教育における指導力の向上
  - ・教育コンテンツの作成等、ITを活用した授業を活性化する力量的養成
  - ・IT活用環境を管理する力量的向上

## 校内でのマネジメント能力の養成

「学校運営基礎」特別講座シリーズⅠ～Ⅴ

「府立学校運営基礎」特別講座シリーズⅠ～Ⅴ

新規

#### [ねらい]

- ・校務分掌等におけるチーム・マネジメント能力の養成

小中「マネジメント能力向上」特別講座シリーズⅠ～Ⅴ

府立学校「マネジメント能力向上」特別講座シリーズⅠ～Ⅴ

## 「まなび教育推進プラン」への積極的な対応

教育を取り巻く環境が大きく変化する中、子どもたちが豊かな心を持ち、たくましく生きるためには、自ら考え、主体的に判断し、表現したり行動したりすることができる資質や能力を身に付けることが大切です。そのため、生涯にわたって学び続ける基盤を培うという観点に立って、基礎・基本を徹底して「確かな学力」の向上を図る取組や不登校の解決に向けた取組の充実が重要です。センターでは、各校が創意工夫して取り組む教育活動を支援していきます。

## 「確かな学力」の向上

### 学力の基盤としての国語力育成

「確かな学力」の向上を図る上で、考える力、想像する力、表現する力、これらを支える語彙力等の国語力はその基盤となるものです。関連する各講座において多様な視点から児童生徒の国語力育成に関する内容の充実を図ります。

主 な 講 座 名	主 な 内 容
・ 初任者研修講座	・ 演習や模擬授業等を通じた「授業実践力」の育成
・ 教職経験2～5年目研修講座 小・授業実践演習「授業技術」講座 小・「聞く力・話す力」育成講座 小・「書く力」育成講座 小・読み聞かせ・読書活動推進講座 中・高「総合的な学習の時間」講座	・ 国語力育成に直結する具体的な指導内容と指導方法の理解
・ 教職経験10年研修「共通」講座 ・ 教職経験20年研修講座	・ 国語力育成にかかわる内容の理解 ・ 確かな学力の基盤となる国語力育成についての理解
・ 国語力アップ促進講座Ⅰ・Ⅱ ・ 小・授業実践研究講座国語科 ・ 中・高教科教育研究講座Ⅰ・Ⅱ 国語科（大学連携）	・ 国語科の専門性を通じた国語力育成の視点の理解
・ 小・基礎学力充実講座 ・ 中・学力充実講座	・ 国語力育成に向けた学力診断テスト結果分析の活用
・ 小・中授業実践指導者養成特別講座	・ 国語力育成に関する授業研究の活性化に向けた力量の育成
・ 司書教諭講座	・ 読書活動の推進を通じた国語力の育成
・ 教頭講座	・ 国語力育成に向けた教職員の組織の活性化についての理解

### 京都式少人数教育を生かした授業改善

- 夢・未来校の研究成果の積極的な活用
  - ・ 小学校基礎学力充実講座、中学校学力充実講座等での実践発表
- 小学校授業実践研究講座国語科、算数科における少人数授業に関する実践成果の積極的な活用
- 小学校、中学校教育課程基礎講座における指導方法・指導体制の在り方に関する理解の深化



## 不登校の未然防止と解決

学校の全教育活動の中で、不登校の未然防止と解決に向けて、早期発見のための的確な児童生徒理解と気づき、LD、ADHD、高機能自閉症等への適切な対応など様々な視点からの理解、早期対応の基本となる教職員間の連携など総合的な取組が求められています。各講座において不登校に関連する講座内容の充実を図ります。

### 若手教員に向けて

- 初任者研修講座
  - ・「子どものサイン」への気づきと理解等
- 教職経験2～5年目研修講座
  - ・人間関係の理解と聴く力の向上等
  - 不登校についての基本的な認識の深化や様々な対応方法の習得

### 全教員に向けて

- 不登校研究講座（10年期対象講座） **新規**
  - ・生徒指導、特別支援教育、教育相談等の総合的な視点から不登校の未然防止についてとらえ直し、指導・支援の方策の理解
- 生徒指導研究講座、教育相談実技実践研究講座 等 **改編**
  - ・様々な視点からの不登校の早期発見、早期対応及び具体的手立て、指導の工夫等についての理解
- 健康安全教育講座 **改編**
  - ・児童生徒の心身の健全な発達の視点に立った未然防止に向けた実践的指導力の向上
- 教育相談指導者養成特別講座 **改編**
  - ・不登校への対応の専門的な知識・技能の習得と教育相談のコーディネート力の向上

### 養護教諭に向けて

- 養護教諭講座
  - ・LD、ADHD、高機能自閉症等への適切な指導・支援による不登校の未然防止に向けた指導力量の向上

### 管理職に向けて

- 校長講座
  - ・不登校の未然防止の視点に立った学校経営
  - LD、ADHD、高機能自閉症等の理解と不登校の未然防止に向けた学校の取組、管理職としての指導

## 専門研修講座の充実

教職員一人一人が教育の専門家として意欲的に研修に取り組み、常に高い専門性を身に付け、実践的な指導力の充実を図ることが大切です。センターでは、教職員が高い専門性を基盤とした実践的指導力の向上を図れるよう大学連携講座を始め専門研修講座を38講座（平成17年度26講座）に拡大し、さらには、個性伸長や得意分野づくりを推進できるよう講座内容を充実します。

### 専門研修講座 「選ばれる講座」に向けて

専門研修講座は、すべての教職員を対象とする講座です。

### 国語力の向上や不登校等今日的課題に対応

#### 「国語力アップ促進講座シリーズⅠ・Ⅱ」

拡充

国語科における国語力育成のための実践

- ◎ 国語力と国語科の関連と参加体験型研修を重視した授業実践の工夫改善
  - ・ 夢・未来校の研究成果の活用
  - ・ 研究と実践の一体化を図った講座展開による研修の充実
- ◎ 国語力育成の具体的方策の認識
  - ・ ポスターセッションによる小中学校の国語力育成に向けた実践の交流
  - ・ 小中学校等の連携を通じた国語科での授業改善に向けた認識の共有

#### シリーズⅠ

- ・ 講義  
国語力と国語科の役割
- ・ 実践発表  
実践成果の活用
- ・ 研究協議  
改善の方向性



#### シリーズⅡ

- ・ 講義  
読書活動と国語力育成
- ・ 演習  
ポスターセッション
- ・ 研究協議  
各学校での取組

授業実践

#### 「コンテンツ作成研究講座」

新規

授業を活性化する教育コンテンツの作成

- ITを活用した授業を推進するための教育コンテンツの充実
- 教材作成のためのノウハウの蓄積
- IT化のための画像処理等技術の習得

## 「小学校『授業実践力』向上講座理科シリーズⅠ～Ⅲ」 「中学校『授業実践力』向上講座理科シリーズⅠ～Ⅲ」

新規

改編

感動から学びへ 理科大好き児童生徒の育成

- 理科大好き児童生徒の育成に向けた教科リーダーの養成  
(小学校・中学校「授業実践力」向上講座理科シリーズⅠ～Ⅲ)
- 実技・実習技能の向上に基づく感動から学びへの連続的な指導の充実
- 問題解決的な学習の推進
- 自然の現象等を読み解き、科学的に表現する活動促進
- 自然の事物に対する気付きや探究する過程を通じた読解力、論理的思考力の伸長
- I T E Cの有効活用による研修の深化

## 「不登校研究講座」

新規

不登校の未然防止への組織的・積極的な対応

- 不登校の未然防止に向けたきめ細かな指導の推進
- 様々な視点からの提言

児童生徒理解  
に基づいた  
生徒指導から

認知及び行動特性に  
応じた指導・支援を行う  
特別支援教育から

相談事例をもとに  
教育相談から

それぞれの立場から、不登校にかかわる対応とともに、未然防止に向け、総合的な視点からのとらえ方、理解の仕方等の認識を共有し、組織的で積極的な対応の在り方を考察

- 特別支援教育の立場からの不登校未然防止にかかわるアプローチの理解

演習による認知特性の体験を通して、不登校の未然防止を図る組織的な指導・支援の在り方を理解

## 豊かな心の育成と健康や体力の向上

### 「道徳教育研究講座」

具体的実践に学ぶ「道徳の時間」の充実

- 学校全体で取り組む道徳教育の積極的な推進と実践事例を踏まえた「道徳の時間」の展開
- 小中同一教材を用いた学習指導案の作成と指導の在り方の検討
- 小中学校の実践発表を通し、校種間連携の重要性について理解

## 「小学校『授業実践力』向上講座図画工作科シリーズⅠ～Ⅲ」 新規

### 「小学校授業実践研究講座音楽科」

### 「小学校授業実践研究講座図画工作科」

表現活動を通じた、豊かな心と感性の醸成

- 表現活動を通じた豊かな心の育成を図る実技実習教科リーダーの養成  
(小学校「授業実践力」向上講座図画工作科シリーズⅠ～Ⅲ)
- できた喜びや達成感・満足感を実感できる授業づくりの支援
- 自分自身の個性に気付き、お互いの違いを理解し合う授業づくりの支援

## 「小学校実技実習ベーシック講座体育科」

### 「健康安全教育研究講座」

### 「養護教諭講座」

### 「学校栄養職員講座」

心身の健全な発達

- 豊かで楽しい運動経験を通じた体力づくりの工夫と充実
- ストレスマネジメント技法を活用した健康相談活動の充実
- 救急処置や心肺蘇生法についての実践的力量的の向上
- 学校における「食育」の推進

## 教職経験10年期研修と大学連携講座の充実

### 10年期研修の充実

実践上の課題に応じた多様な研修講座を設定し、実践的指導力の向上を図るとともに、個性の伸長を図り、得意分野づくりを支援します。

必修講座、教科教育の講座群のほか、専門研修の中で指定された講座群の中から選択受講します。

#### ○ 選択幅の拡大

- ・ 選択講座の拡大 18講座から4講座を選択 (平成17年度 6講座から2講座選択)

#### ○ 履修方法

- |             |                 |
|-------------|-----------------|
| ・ 必修講座      | ・ 選択講座          |
| 「共通」講座      | 「総合的な学習の時間」研究講座 |
| 不登校研究講座     | 道徳教育研究講座        |
| 社会体験活動講座    | 教育課程研究講座        |
| 小・授業実践研究講座  | 等から選択           |
| 中・高教科教育研究講座 |                 |

## 大学連携講座の受講対象の拡大

拡充

### ○ 教科の専門研修講座として対象を拡大

- ・ 全教員がすべての大学連携講座を受講可能
- ・ 連携講座を中学校へ拡大  
平成18年度開講教科  
中学校 国語科、数学科、保健体育科、技術・家庭科（技術分野、家庭分野）  
高等学校 国語科、数学科、保健体育科、芸術科書道、家庭科、工業科

### ○ 「領域」分野での新設

新規

- ・ 小学校学級経営研究講座、中学校学級経営研究講座、教育課程研究講座

## 特別支援教育の推進

特別支援教育の理解の徹底を図るため、全校種の全教員を対象に研修講座を実施します。特に特別支援教育コーディネーターは校内支援体制の要であり、演習等を通してコーディネートする力の向上を図ります。

### ○ 全校種の全教員を対象にした特別支援教育の理解の徹底

- 小・特別支援教育基礎講座 中・高特別支援教育基礎講座 校長講座 保育技術専門講座 等
- ・ 通常の学級に在籍するLD、ADHD、高機能自閉症等の児童生徒への支援の在り方と、一人一人に応じた具体的な支援方法の理解

### ○ 盲・聾・養護学校の若手教員の実践的指導力を育成

- 盲・聾・養護学校授業実践演習講座 自閉症の特性等に応じた指導講座 等
- ・ 模擬授業や演習等を通じた専門性、授業実践力の伸長

### ○ 専門性の向上

- LD、ADHD等研究講座 自閉症等指導研究講座 心理検査研究講座
- ・ LD、ADHD、高機能自閉症等の児童生徒に対する指導・支援等の専門性の向上
- ・ 心理検査結果をアセスメントに生かした個別の指導計画を作成する力量の向上

### ○ 特別支援教育コーディネーターの養成

- 特別支援教育コーディネーター養成「LD、ADHD等」講座  
同「アセスメント」講座  
同「支援体制」講座  
特別支援教育コーディネータースキルアップ講座（各教育局管内で実施）
- ・ 受講対象を幼稚園、高等学校に拡大
- ・ 通常の学級に在籍するLD、ADHD、高機能自閉症等の児童生徒への支援事例をもとに、コーディネート力を向上

## 「授業実践力」を中心とした実践的指導力の向上

「授業実践力」は、授業計画から発問や板書の仕方などの授業技術、授業を通して児童生徒の理解やコミュニケーション、学習評価や授業研究まで、授業にかかわるあらゆる知識技能等の総体だと考えられます。センターでは、講座体系を通して「授業実践力」を位置付け、講座の充実を図っています。

### 初任者・新規採用者研修講座

- ・全受講者による模擬授業の実施
- ・経験豊富な教諭の授業参観を通じた指導法等の習得
- ・学級児童生徒の好ましい人間関係を育てる学級経営の在り方の理解

### 教職経験2～5年目研修講座

- ・「授業実践演習講座」での演習や模擬授業を通じた「授業実践力」の育成
- ・「教育課程基礎講座」でのカリキュラムマネジメントの基礎的な理解

### 専門研修講座

- ・教科の「授業実践研究講座」での演習等による「授業実践力」の育成
- ・教科の『「授業実践力」向上講座』での実技・実習技能の向上と効果的な指導
- ・大学連携「教科教育」研究講座Ⅱでの授業づくり等にかかわる専門的内容の充実

### 指導者養成講座

- ・「授業実践指導者養成特別講座」での授業分析・授業評価の研究と授業研究等校内研修の活性化
- ・「IT推進指導者養成特別講座」でのITを活用した授業づくりの推進

## ITを活用した新しい研修システムの導入

### 英語eラーニングの導入

— 英語科担当教員の英語力の向上（府立学校対象） —

生徒の英語による実践的コミュニケーション能力を育成するために、指導者のリスニングやリーディング（速読）等の力量向上が求められています。英語eラーニングは、利用者が勤務校（府立学校）から京都みらいネットに接続されたパソコンで遠隔研修ができるシステムです。

#### 特長

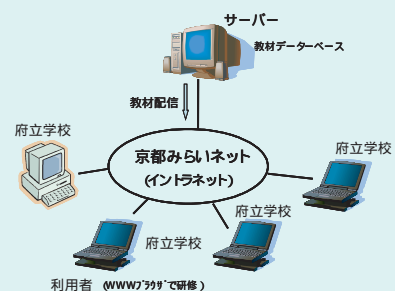
- ・勤務校で、いつでも利用者のペースで研修できます。
- ・利用者個々のレベルに応じた研修内容が用意されています。
- ・利用者自身が進捗状況や理解の程度を把握することができます。
- ・理解できるまで、同じ教材で繰り返し研修することができます。
- ・TOEICのミニ模擬テストを受けて、客観的な状況を知ることができます。
- ・希望により、センターの英語指導助手の添削が受けられます。

#### 研修内容

- ・レベル診断テスト
- ・リスニング力強化コース 50ユニットから選択
- ・リーディング力強化コース 50ユニットから選択
- ・TOEICテスト演習コース 10ユニットから選択

#### 申込み

3月20日(月)からITECで受け付けています。





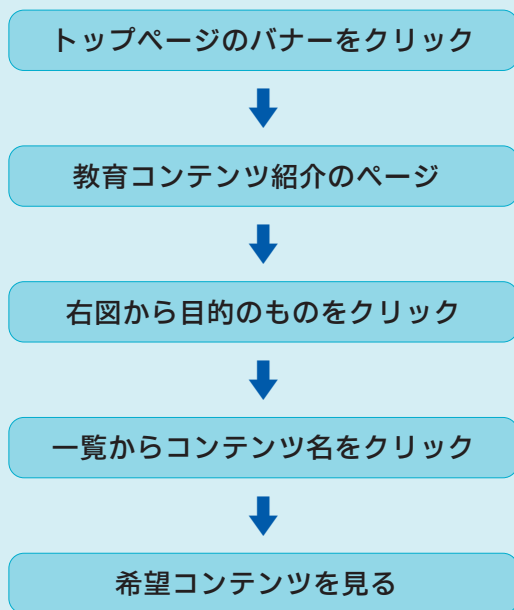
# ITEC教育コンテンツの紹介

教育コンテンツが  
探しやすくなりました



バナー

ITECのトップページに「教育コンテンツナビゲーター」というバナー（見出し画像）を設定しました。



- ・新設したコンテンツ群
  - 国語力アップ広場
  - 小学校理科ものづくり
- ・その他のコンテンツ群にも、新しいコンテンツを追加、掲載しています。（**NEW**と表示しています。）



ITECのトップページ



教育コンテンツ紹介のページ

## 平成17年度の研究事業について

センターでは、平成17年度研究事業として下記のテーマで研究を進め、研究協力員の協力により、まとめることができました。今後、教育コンテンツとしてITECに掲載しますので、御覧いただき教育実践に役立ててください。

テ ー マ	「学びの基盤としての読解力をはぐくむ学習指導」
主な内容	学力の基盤としての読解力に焦点を当て、その育成の道すじと国語科や他の教科、「総合的な学習の時間」における指導方法の在り方を研究
テ ー マ	「地域や学校における特別支援教育体制の充実」
主な内容	通常の学級に在籍するLD、ADHD、高機能自閉症等の児童への支援事例を収集して、児童個々の具体的な支援方策及び学校での支援体制の在り方を研究
テ ー マ	「不登校の未然防止と学校教育相談体制の充実」
主な内容	不登校の早期発見、早期対応についての先進的な実践事例をもとに、不登校を未然に防止し、的確に対応する組織的な教育相談の在り方を研究
テ ー マ	「実験実技実習教科における教材・教具の工夫と授業改善」
主な内容	実験実技実習教科における授業に役立つコンテンツの研究開発

センターでは、教職員の資質能力の向上に向け、講座の体系的整備や参加体験型研修の拡充など、より質の高い魅力ある研修講座となるよう、その充実に努めています。研修講座等に関する御意見、御要望をお寄せください。

### 府立学校教職員のための電話相談窓口 (075) 612-3048

セクシュアル・ハラスメントに係る相談窓口・教育実践に係る相談窓口  
木曜日 午後1時から午後7時まで（祝日を除く）

京 都 府 総 合 教 育 セ ン タ ー 〒612-0064 京都市伏見区桃山毛利長門西町  
TEL (075)612-3266 FAX (075)612-3267  
企画教育部 (612-2950) 教職教育部 (612-2952)  
特別支援教育部 (612-2953) 教育相談室 (612-2959)  
ふれあい・すこやかテレホン(612-3268または3301) 毎日8:30-20:30（祝日を除く）  
<http://www1.kyoto-be.ne.jp/ed-center/> E-mail [ed-center@kyoto-be.ne.jp](mailto:ed-center@kyoto-be.ne.jp)

北部研修所 〒623-0012 綾部市川糸町堀ノ内  
TEL (0773)43-2934 FAX (0773)43-2935  
ふれあい・すこやかテレホン(0773)43-0390 月～金 10:00-19:00（祝日を除く）  
E-mail [ned-center@kyoto-be.ne.jp](mailto:ned-center@kyoto-be.ne.jp)